



~ 50th Anniversary ~

青葉町自治連合会

白樺会

50周年記念誌



画像：昭和43年 「札幌市公文書館所蔵」

～ページ案内～

Page : 1

白樺会 会長挨拶 伝法政喜

Page : 2~7

白樺会の歴史を聞く

青葉町の当時を知る方々にインタビュー

松村伸己さん、遊佐春哉さん、高島梅乃さん
吉田幹夫さん、武知三代治さん・政代さん、林昭一さん、



Page : 8~13

白樺会50周年特別企画

青葉小学校卒業生座談会

「愛する我が街と共に

これからもずっと」



座長：鳥本優至さん

藤田智行さん、渡辺和美さん、マーフィー美奈さん、中山恭子さん

Page : 14~17

白樺歴史ギャラリー

画像・資料提供：札幌公文書館様、青葉小学校様、青葉町自治連合会様
和寒かたくり歯科清水様、札幌青葉郵便局様

Page : 18~19

白樺会のできごと・・・年表

Page : 20

写真で見る今日の白樺会

Page : 21

編集後記

半世紀の歴史を踏まえて新たな一歩を

〜五〇周年記念誌の発刊に寄せて〜



一九六八年（昭和四三年）九月に、青葉地区最小の町内会として誕生した白樺会は、今年で結成五〇周年という節目の年を迎えています。

今回、半世紀の歴史を刻んだ白樺会五〇周年を記念して、現在も白樺会の地域内にお住いの当時の小学生の方々の座談会や、当時のことを知る方々のインタビューのほか、この地域の開発当時の写真などを掲載して、地域の発展の様子を振り返ってみる一つの資料として、五〇周年記念誌の発行を企画することとしました。

座談会やインタビューの中でも明らかなように、白樺会結成当時のこの地域は、青葉公設市場やコンシユマーズマーケット「にしむら」のほか、ガソリンスタンドや病院、薬局、銀行、喫茶店などが立ち並び、文字通り青葉町の中心地として開発・整備されてきたことがうかがえますが、現在の地域の状況を見ると、この半世紀の間にそうした施設のほとんどが移転または撤退し、その跡地には分譲マンションが建設されるなど、まさに、隔世の感があります。

こうした地域の変化とともに、白樺会を取り巻く環境も大きく変化してきています。加入世帯数は二〇一八年一月一日現在で、三四四世帯、結成当時に比べるとほぼ倍増しており、古くからの住民と比較的新しい住民が混在するなど、町内会に対する意識の相違も大きなものがあります。

そのため、ホームページによる情報の発信や各種会議の議事録の公開など情報公開に取り組みました。若い世代にも積極的に参加・協力がもらえるような努力と合わせて、「ふれあいいきいきサロン」や「健康麻雀サークル」「パークゴルフサークル」などの世代を超えた仲間づくり活動など、日常的な結びつきと活発な町内会活動をめざすこととしています。

また、昨今は地震や大雨による災害が全国各地で発生していますが、九月六日に発生した「北海道胆振東部地震」と、それに伴うブラックアウトに象徴されるように、札幌も災害の例外ではありません。加えて、災害時の避難所として指定されている青葉小学校の統合・移転など新たな状況の中で、災害弱者対策としての「要支援者」の把握など、地域での防災活動の充実も求められています。

白樺会半世紀の歴史の中で培ってきた地域の結びつきを一層強め、「誰でも大きな負担なく参加できる町内会活動」に向けて、新たな歴史を一步一步刻んでいけるよう、会員皆さんの一層のご協力をお願いして、五〇周年記念誌発刊に当たってのご挨拶いたします。

白樺会 第十六代会長 伝法政喜

〜白樺会の歴史を聞く〜 青葉町の当時を知る方々へインタビュー

今回、白樺会が五〇周年を迎えるにあたり、この地域が造成、分譲された時期に住居を構えられた方々に、当時の様子をお聞きするという企画を考えました。

台風が続く、地震による全道ブラックアウトの災難の後でしたが、六世帯の方々に快く応じていただきました。編集委員会のメンバーがインタビューさせていただいた皆様方の、懐かしいお話の数々をお楽しみください。

七丁目在住 松村伸己さん



聞き手 松谷・小林・小林

青葉町に住居を構えた時期は

昭和四二年九月に、札幌市との契約で土地を購入しました。抽選順が遅く、諦めていましたが、辞退する人もいて購入できました。「二年以内に建てる」という約束だったので、仕事の都合で延期してもらい、家は昭和四五年夏に建てました。実際に住むまで、お隣の森さんが町内会費を立て替えてくれるなど、お世話になりました。

青葉町にお住まいになろうとした
きっかけ、決め手は

市が分譲していたので。

当時の様子、現在の違い

分譲のために火山灰で整地された区画整理されてはいましたが、何もない状態で、どこがどこやわからない状態でした。

今は大きな周りの木が、まだ小さかったです。南郷通も、北星大学のところまでしかありませんでした。

また、当時は電話代が高く、道外との連絡は緊急時以外は電報という時代でした。

七丁目在住 遊佐春哉さん



聞き手 松谷・小林・小林

青葉町に住居を構えた時期は

昭和四三年秋。二回目の抽選に応募しました。

青葉町にお住まいになろうとした
きっかけ、決め手は

市役所の担当が、車で見学に連れてきてくれて、建設予定などの説明を受けました。

札幌市の造成したエリアは、舗装道路、水道、電気、ガスが用意されていて、付帯工事がいらず、土地の値段も他より安かったので決めました。

車通勤でしたが、当時は桑園の職場まで二五分くらいで行けました。十三丁目一帯は、まだ田んぼでした。

昭和四六生まれの子供が幼稚園に入る直前の北光幼稚園は、入園希望者が多く、入園申し込みのため徹夜で順番待ちする覚悟もしましたが大丈夫でした。周りも、殆どの家が二世帯、三世帯、四世代の同居で、子供たちの声がたくさん聞こえていました。

当時、便利だと思ったこと、
不便だと思ったこと

スーパーにしまむらが二軒、公設市場もあり、買い物は殆どが町内ですんで便利でした。皮膚科、整形外科などの病院、銀行、居酒屋などもありました。

当時の印象に残っていること、
地域の行事、様子など

少年野球が活発で、多いときは町内会ごとに八チームあり、(監督も歴任)青葉町内でリーグ戦もやっていました。

大人の「のんべえず」というチームがあったり、町内対抗の女子ソフトボール大会などもありました。

現在の児童会館の場所に公園があり、そこでも盆踊りをしていました。そこが、テニスコートだったこと

もありました。今のサイクリングロードの旧千歳線にはSLが走っていて、よく子供たちに見せるために中央公園まで行っていました。当時は周囲に高い建物がなく、家の二階から豊平川の花火も見えました。

銭湯も、すずらん湯さんや、日の出湯さんを時々利用していました。当時、小学校の校長先生をした事のある方が町内会長をしていて、私はその時に会計部長をしていました。

今のカテプリは、プランタンというデパートでした。サタデースタジオというSTVラジオの番組があり、歌手が来て歌うのを見に行ったことを覚えています。

今回の台風が続く地震で困りに
なったこと

停電はしましたが、ガスで調理することができました。温水器も利用していたため、そのお湯でお風呂にも入れましたので、あまり困ることはなかったです。

小学生から大人まで参加の運動会も、青葉中央公園で開催されました。

今回の台風が続く地震で困りに
なったこと

ラジオもない高齢者のお宅があり、余っているラジオをお貸ししました。

民生委員の方の炊き出しもあり、お誘いに来ていただきました。ここが、安心できる地域で本当に良かったなど、思いました。ガスが使えたので特に困りませんでした。充電用のコードがなかったのが困りました。

白樺会、連合町内会などに期待
すること、または要望事項

四班の角地の街灯が一つはずされ、夜になるととても暗く、歩くのも怖いくらいです。ひったくりにバッグを取られそうになった人もいますので、何とかして欲しいと思います。不審者の出没にも、注意して欲しいと思います。

白樺会、連合町内会などに期待
すること、または要望事項

ゴミステーションを利用する人の範囲が広く、機材変更したいが、話をすすめるのが大変です。今回のような災害時の備えについて、白樺会ではどのように考えているか伺いたいです。



七丁目在住 高島梅乃さん



聞き手 山本・中島・石澤

青葉町に住居を構えた時期は

昭和四二年に家を建てましたので、今年で五一年になります。

青葉町にお住まいになろうとしたきっかけ、決め手は

主人の会社の社長さんが土地を持っていたという関係で、購入しました。

当時の様子、現在の違い

こちらに引越す前は、月寒の会社の社宅にいましたので、ここに来た時は、すごく田舎に感じました。

当初、この辺はうちを入れてまだ四軒しかなくて、今のE団地の辺りは一メートルくらいの草藪でした。春になると、ひばりが飛んで来て、とてもどかでした。旧千歳線もここから見えて、一両編成の電車が走っていました。

五年間ランプで生活していた近所のお家もあり、水も井戸水でした。我が家もその後、隣の家の井戸から塩ビ管で水を分けてもらいました。配管は主人が全部一人でやりました。井戸水での生活は長かったです。冬は温かく夏は冷たくて水質も良かったですね。

以前の家は室もあつたので、冷蔵庫代わりに野菜を保存したり、子供が悪いことをしたら中に入れてお仕置きしました。(笑)

あの頃、下水道を使うための受益者負担というものがありませんでした。北電に電柱を入れてもらうためにも、一本二万円を支払いました。今では、考えられないことですね。

当時、便利だと思ったこと、不便だと思ったこと

春になると火山灰が風に舞ってすごかったです。ゴミは自分たちでドラム缶で燃やさなければなら

なかつたので、風の具合を見ながらやっていました。

冬は除雪がまったく入らず吹き溜まってしまい、除雪車を頼んで道をつけてもらっていました。

主人の勤め先は苗穂でしたが、途中で車を乗り捨てて腰まである雪を漕いで、家まで辿りついたことが何度もありました。

道路が、砂利より荒い砕石だったので、子供が転んでよく膝を怪我して大変でした。三輪車も漕ぎづらくて、舗装だったらいいのになと思っていました。

当時の印象に残っていること、地域の行事、様子など

子供の数が多くて、一番目の子はなんとか北光幼稚園に入れたのですが、二番目の子はいれません。札幌市主催のなかよし子ども館という企画があつて、親子と一緒に行ける催し物に参加して、とても楽しかったです。小学校の運動会の場所取りも大変で、土曜の朝に合図の花火が上がると、ごきを持って急いで行ったものでした。

中学は、最初もみじ台中学校で十クラスもあり、プレハブを使っています。途中で青葉中学校が

ました。市の人が案内してくれた場所は今の厚別中央で、この辺の雑木林が遠くに見渡せました。何も無い所でしたが、市の造成だから間違いはないかと思つて決めました。

当時の様子、現在の違い

土地を買つてすぐに家を建てたのですが、その年が翌年の冬だったか、すごい大雪になつたんです。ある時、すすきので食事があつたのですが、あまりに天気が荒れているので先に失礼しました。バスのあるうちに帰ってきましたが、わすか五〇メートル先位にわが家の玄関の灯りが見えるのに、雪の吹きだまりでなかなか進めなく、泳ぐように歩いて辿りついたというところもありました。

大雪で自分の家まで行けずに、仕方なくどこかに泊つた近所の方がいらして、翌朝どうにか帰つてみると、一階部分が雪に埋まっていたと話していました。

あと、風も強かつたですね。まだ家もあまりなかつたので、春になると火山灰が吹き荒れて目を開けられないくらいで、居間の窓も開けていられませんでした。

ここに来た年はもう、今の青葉中

央の停留所のところからバスに乗れました。でも、その前の年はバス停が遠く、冬になると除雪されてない道をスキーを使って歩いたという話も聞きました。

当時、便利だと思ったこと、不便だと思ったこと

出勤はバスを使っていました。市の中心部の時計台まで行くので、通勤は比較的便利でした。ただ最終バスが早く、十時少し前だったので、すすきのに出て遅くなつた時は、よくタクシーで帰りました。

千歳線が切り替わり、上野幌駅が廃止され、新札幌駅ができてとても便利になりました。

当時の印象に残っていること、地域の行事、様子など

忙しくて行事などはあまりよく憶えていないのですが、公園のお祭りや花火大会などは盛況でしたね。

花火大会は、周りに家がだんだん増えていったので危ないからやらなくなつたようです。この辺りの原始林に見えるところは、もともと木がなくて下は田ん

でき、そちらに移りました。町内会活動は、昔は会館などもなかつたので、会合は会長さんの家に集まってやっていました。昔の青葉会館は、冠婚葬祭に使われていて、私の父も青葉会館でお葬式をしました。

今回の台風が続く地震でお困りになつたこと

避難となつても主人の介護で動けないので、すごく不安でした。水は出ましたが停電で、ガスも安全装置が働き使えなくなりました。近所の方の親御さんが市営住宅にいらして、そちらが先に通電したので、ご飯を炊いてもらい、充電もさせて頂きました。

白樺会、連合町内会などに期待すること、または要望事項

何かあつた時に、昔からの戸建同士は、お互いの状況などがわかつていますが、マンションの方たちはそういう繋がりが持ちづらいいので、少し不安です。でも白樺会では、若い方達たちもよくやって下さつて助かってます。いろいろと誘つて下さり、本当に有り難いと思っています。

ぼでした。地主の方が養鶏もしていて、卵を売りに来ていました。近くにりんご山と呼ばれた山があつて、子供が小さい時には、よくスキーして遊んだことが懐かしい思い出です。

今回の台風が続く地震でお困りになつたこと

電気が復旧するのが遅かつたけれど、水道も大丈夫でした。ここはしっかりした造成なので心配ないと思つて、震災の準備も何もしていませんでした。懐中電灯がなく蠟燭だけでした。「蠟燭が残らないから、早く寝ようか」という、のんびりした状態でした(笑)

白樺会、連合町内会などに期待すること、または要望事項

特に望むことはないですが、皆さんがよくやって下さっていると感謝しています。この辺りもマンションが増えて来て、戸建との交流というのなかなか難しいのかもしれませんが、これからはそういう機会もあればよいなと思います。

七丁目在住 吉田幹夫さん



聞き手 山本・石澤

青葉町に住居を構えた時期は

昭和四三年です。

青葉町にお住まいになろうとしたきっかけ、決め手は

当時は、宅地造成が盛んだつた時代でした。戦後の混乱期を脱却して、一般庶民がぼつぼつと家を建てるといった時期でした。最初に道の分譲だつた大麻の土地に申し込んだら抽選に外れてしま

い、さらに別の土地の抽選も外れさせてどうしようかとなつた時、ちょうど市の開発でここを分譲するというのを知りました。

まだ地下鉄の計画などもなかつた時代ですが、少しでも勤務地に近い方がいいと思ひ、まず見学に来

七丁目在住 武知三代治さん・政代さんご夫妻



聞き手 山本・中島・石澤

青葉町に住居を構えた時期は

昭和四十七年です。

青葉町にお住まいになろうとした

きっかけ、決め手は

(三代治さん) (当時の分譲のちらしと地図を見ながら) 手稲に土地を持っていたのですが、私の叔母が紹介してくれたこちらを気に入りました。土地は二〇代で買って、実際に家を建てたのは三〇代ですから、若かったですね。

あの頃は、土地を買っておけば上がるという投資的な気持ちもあって購入しました。周りでもそういう

う人が結構いました。白石の会社に住み込みで勤めていたんですが、住み込み制度がなくなり、せつかく土地もあるから家を建てようかということになったんです。

当時の様子、現在との違い

(三代治さん) 土地を買った当初は、周りにはリンゴ園とじゃがいも畑などの農家が二件あるだけで、道も農道だけでした。遠くには、ひばりが丘が見えました。

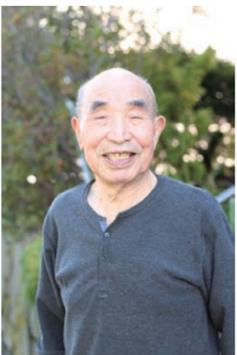
土地を取得してから、実際に家を建てたのは十年後だったので、その頃には、お店も病院もあり、住むのに不便はありませんでした。上野幌駅が近いからいいなと思って買ったのに、駅がなくなってしまうましたが。

昔は、市営住宅にお風呂がなかったで、この辺には銭湯がたくさんありました。お風呂付きになつてからは、銭湯も次々となくなつてしまいました。

当時、便利だと思ったこと、不便だと思ったこと

(三代治さん) 特別不便に感じたことはありませんでした。

六丁目在住 林昭一さん



聞き手 鳥本

青葉町に住居を構えた時期は

昭和四十二年十一月に構えました。

青葉町にお住まいになろうとした

きっかけ、決め手は

以前は、由仁町三川で農業をやっていた。ここで牛乳屋を始め、牛乳屋を始めていた妹から、「青葉町は団地ができて人が増えるから、ここに来て牛乳屋をやらないか」と言われたことでした。それで、移り住むことにしたのです。

当時の様子、現在との違い

来た当時は、南郷通の向こうは、自衛隊の弾薬庫でした。バラ線が

子供も、ここに来たら学校がすぐく近くなりました。お隣はラーメン屋さんで、近所には、お寿司屋さんやお菓子屋さん、床屋さん、パーマ屋さん、クリーニング屋さんと何でもありました。通勤はバスでした。冬に大麻まで酔っ払って寝てしまい、帰りのバスに乗せてもらったこともありました。(笑)

(政代さん) 私の両親は東区にいたのですが、当時東区まで行くには、バスを乗り継いで行かなければなりませんでしたが。

体の丈夫でない親が遊びに来て、遠くまでバスで帰るのがつらくて、タクシーを呼んだりしていました。車が家にあつたので、周りからは反対されましたが、息子が一年生になった時に一念発起して免許を取りました。そのおかげで、親を送り迎えすることができ、親の死に目にも間に合うことができました。で、良かったなと思っています。

当時の印象に残っていること、地域の行事、様子など

(政代さん) 住み込み住宅では気が抜けなくて、毎日緊張の連続でした。青葉町に引越して来たら、ゆつたりとした気持ちで暮らせて

張られ、道路も砂利道でした。青葉町六丁目の界限では、我が家しかなかったですね。あとは、四丁目に市の水道局の人たちがいただけでした。こちらの道路も砂利道で何もなく、学校もできてなかったです。夜、仕事をするのも、九月になるとすぐ暗くなるので大変でした。電気工事などをする時に使う臨時灯を、点けてもらおうと思いましたが、当時四〇万円くらいかかると言われやめました。

当時、便利だと思ったこと、不便だと思ったこと

家を建てるすぐ前に、ガスや水道が入ったような、とても不便なところでした。

今回の台風が続く地震で困りになつたこと

地震で困ったことは何もなかったです。ここは、地盤が固いので良かったです。

白樺会、連合町内会などに期待すること、または要望事項

もう五〇年以上も住んでいます

本当に嬉しかったです。

当時、上の娘は小学二年生、下の息子はまだ一歳でした。その頃には、団地にも沢山人がいましたし、娘の時は小学校にクラスが六つも七つもあつて、青葉町七丁目だけでも一学年十人位いました。一番多い時には、全校生徒が一六〇〇人いたようです。

地域では、お祭りの御神輿やいろんな催し物もあり、とても賑やかでした。幼稚園のサークルにも入つたりと、楽しく過ごしました。

(三代治さん) 本当にお陰様で、ここに住んで嫌な思いというのはしたことがなかったですね。治安もいいですしね。

(政代さん) 主人は仕事人間で家にいなかったため、子供たちと一緒に親子で参加できる催し物に誘っていたとき、山に登ったり、キャンプしたりと本当に楽しかったですよ。

今回の台風が続く地震で困りになつたこと

(三代治さん) 娘が区内にいますし、息子が一晩泊つてアンテナを直してくれたので助かりました。うちでは、普段から懐中電灯をた

が、町内会には満足しています。今、九一歳で、胃の手術もしました。が、食欲もあつてまだまだ元気です。

参考資料・かつて白樺会内にあつた店、病院、施設など(年代、その他順不同)

三丁目

- コンシユマーズスマートにしむら
- 青葉公設市場(ショッピングセンター)
- アルファベーター
- ローソン
- しきぶ(美容院)
- カープス

六丁目

- 北海道銀行下野幌支店
- 喫茶A c c
- 左門寿司
- 竜宮園
- さん吉
- 雪印牛乳店
- 北ガス泉燃料店
- 理興産業
- レストラン青葉
- 北海タイムス専売所
- コスモ石油ガソリンスタンド
- 木戸歯科
- 橋本産婦人科
- 渡辺整形外科医院
- 飯塚耳鼻咽喉科
- 皮膚科青葉のうなか医院
- 調剤薬局

七丁目

- テニスコート(現・児童会館)
- 川原歯科
- ライメン店
- 洋菓子ブチロアンヌ
- 高和堂
- 美容院
- 理髪店
- 鮎の味通
- 三菱電器店
- クリーニング店

白樺会五〇周年特別企画
青葉小学校卒業生座談会

「愛する我が街と共に
これからずっと」



左から鳥本優至さん（座長・二期卒）
藤田智行さん（五期卒）
渡辺和美さん（六期卒・旧姓佐々木）
マーフィー美奈さん（八期卒・旧姓佐藤）
中山恭子さん（一七期卒・旧姓藤堂）

鳥本 皆さん、今日はお集まり頂いてありがとうございます。ありがとうございます。
難しい話はなしで、当時の思い出などを、お話できれば良いかなと思います。
実は先日四六年ぶりに同期会をやったんですよ。皆さんやられていますか？



渡辺 最近やっていないんですが、以前はミニバスケットの関係で毎年集まってやっています。今でも何人かとは連絡を取り合っています。



鳥本 その同期会で、当時の担任の先生方三人にも出席していただき、「先生、当時は厳しかったですよ」という話で盛り上がりました。
今だとちよつと問題になるような厳しさかもしれませんが（笑）。
渡辺 すごく怒られました。顔に赤墨を塗られて廊下に座らせられ、友達と塗られたところを見せあったり。でも、そんなことが嬉しかったりしました。（笑）

の数もとても多かったです。

中山 私は物心ついた頃には二丁目に住んでいて、幼稚園の頃、七丁目に移り越して北光幼稚園に入りました。



藤田 僕も小学二年の時にA団地から、二丁目の家を建てて移りました。
鳥本 二丁目と言えば、みどり公園の近くにそろばん教室がありましたね。

私は東区にいたのですが、小学校二年か三年のころに来ました。その時に十二号線からバスで来たのか、上野幌駅から歩いて来たのか覚えていませんが、当時の上野幌駅舎は、近くに湧水が出ているようなところでした。

渡辺さんと同じように、「すごく遠くまで連れて来られたなあ」という感じと、秋だったのでトンボが舞う様子が印象的でした。

当時はE団地がなくて林だったんです。もみじ台団地もまだなくて、うちから百年記念塔のところまでスキーで行ったりしてました。

渡辺 私も、今の北星高校があるところ、山があったので、日曜になるとボブスレーを持って行って滑って遊んでいました。

鳥本 本当にのどかでしたね。交

通手段は、国鉄バスと市営バスでした。

渡辺 バスというのと、青葉町中央にバスのロータリーがあって、そこで折り返していました。

鳥本 バスが来ない時は広い駐車場のようになっているので、皆勝手に停めていました。

今と違って駐車スペースに悩まず停め放題でしたよ（笑）

藤田さんもロータリーや公設市場、コンシユマーズマーケットにしろのことば覚えていらつしやいますか？

藤田 はい、もちろん知っています。

鳥本 にしむらは、八丁目のパーソナルハイツの場所にもありました。

渡辺 四丁目には、下野幌スーパーがあまりありません。

赤ひげの北側で、浅井歯科があるところに。



鳥本 皆さんが最初に青葉町に来られた時はどんな感じでしたか？

渡辺 私は美園から引越して来たのですが、すごく人里離れた遠いところに来たように思いました。でも小学校の校長室に挨拶に行った時に、その窓から見た街並みがすごく綺麗で、「ああここに住めるんだな」という気持ちになりました。来たのが冬だったので、猛吹雪で歩けなくなることが何回もあり、「これはすごいところに来たな」という両方の印象がありました。

鳥本 当時の小学校の周りはどうな感じでしたか？



(青葉小学校所蔵)

鳥本 あその上に会館があって、そこで郵便局の開局式典がおこなわれました。

藤田 小学校は当時、体育館がなかった

ので、開校式は理科室でやりました。

鳥本 その他、青葉町全体で、今でも記憶に残っていることはありますか？

渡辺 青葉中央公園は、昔は自然公園と言っていましたね。

鳥本 青葉中央公園という名前になったのは最近のような気がします。自然公園では昔、花火大会をやっていましたね。

渡辺 ええ、夏は盆踊りの後に花火大会が盛大に行われてました。マーフィー それは知らなかったです。

鳥本 ナイアガラ花火もありまし



(青葉小学校所蔵)



渡辺 小学校の向かいにトラック協会の社宅と北光幼稚園がありました。家の前はうちと今田さんの家しかなくあとはE団地、それと個人住宅がまだぼつぼつとあるような感じでした。

藤田 昭和四一年に私が来た時は、まだ青葉町ではなく下野幌と呼ばれていた時です。最初はまだ六棟しか建っていませんでした。A団地に入りました。なかよしこども館に行き、その後ひばりが丘の明星幼稚園、信濃小学校まで歩いて通いました。

鳥本 小学校に入った年の十二月くらいに、やつと下野幌小学校ができたので移りました。学校が近くなったので嬉しかったです。

渡辺 私は一年生として最初に入学式をした世代です。その時代が児童数が一番多く、千数百人の札幌一のマンモス校でした。毎年増築工事を行っていて、三年四年次はプレハブ校舎にいました。



マーフィー 私がこちらに来たのは幼稚園に上がる前の五歳くらいの時です。青葉中央公園の一角が火山灰だった印象が強いです。

たね。

渡辺 青葉中央公園でやらなくなった後は、サンピアザの広場で大きなやぐらを組んで、盆踊りと花火大会をやるようになりました。

青葉中央公園の花火大会は、もみじ台の花火大会などよりもっと大きくて、楽しかったです。観に来る人も踊る人もたくさんいました。

鳥本 今の朝日新聞販売店の隣は、いろいろ建物が変わっているのですが、ガス屋さんになったりフラインス料理店にもなりましたね。

渡辺 そうですね、今の青葉産婦人科クリニックの所に、喫茶店や焼肉屋さんもありましたね。

鳥本 ガス屋さんが出てきた時に、お祭りをやったのを覚えていますか？今の児童会館のところで。それがすごい人で、こんなに人が来るのかというくらい。

渡辺 青葉町は、とにかく人がたくさんいましたから。

マーフィー 運動会の時にすごい人がたくさんいたという記憶があります。



中山 運動会はすごかったですよね。グラウ

ンドでご飯食べられなくて、自然公園に行つて食べたりして。

藤田 グラウンドがいつぱいで、食べられなかったですよ。

中山 あの頃は、中央公園の木も小さかったですね。

渡辺 うちから藻岩山も見えたのに。

中山 小さいけど、豊平川の花火も見えました。

渡辺 私はご飯は家に帰って食べて、放送が聞こえたら、学校に戻ると感じてました。

鳥本 とにかく人が沢山いましたね。自然公園でお祭りをやった時、公設市場にしむらと共催していたのかわからないけれど、屋台が出て、そこにも人がいっぱいいました。

中山 屋台もいっぱいあった気がします。

鳥本 小学校時代の思い出で何か覚えていることはありますか？

マーフィー 教室にコークススト



(青葉小学校所蔵)

ーブがあつて、当番があり、ストープの上に桶を置いて牛乳を温めたりしていました。

渡辺 コークスと言え、三、四年の時はプレハブの教室にいて四年の途中で三階の教室に移ったのですが、

そこでコークスをつけると煙突から白い煙が出て避難することがありませんでした。先生に「教室にいられないから、体育館でドッジボールしよう！」と言われて嬉しかったな(笑)。

それからは、煙が出るたびに「ドッジボール！」と言っていたことを鮮明に覚えています。

鳥本 のどかですね(笑)。

渡辺 人数が多かったので、学年で二つにわけて、劇や音楽演奏を二日間に分けてやりました。

鳥本 僕は、演劇と裏方からあがれて、ちゃっきり節をやりました。すごくイヤでしたが、うけたから良かった(笑)。

渡辺 妹は十二クラスある学年で、入学のとき東玄関にずらーっ



(青葉小学校所蔵)

と名前が貼られてました。

中山 私は小学校時代やんちゃでした。学校の思い出より、帰って来たらシヨッピングセンターに入り浸っていたという感じでした。



(札幌市公文書館所蔵)

渡辺 レコード屋さんからおもちゃ屋さん、いっぱいお店がありましたね。レコード屋さんに行くのがすごく楽しくて、あとミモリさん、靴屋さん、おもちゃ屋さん、食べ物屋さん、お菓子屋さん、ラーメン屋さんもありました。

中山 あ、それ、うちです(笑)。

食堂なのでラーメンの他に、お蕎麦とか、ソフトクリームなんかもありました。自分のうちのものなので、ソフトクリームは巻き放題で(笑)。



鳥本 じゃあ中山さんは放課後はお店にずっといた感じですか？

中山 いましたね。おかず屋さんの女の子とお友達と一緒に遊んでいたりとか。

鳥本 僕たちの親は大体関わっているんですよ。夜中に行つて、寒いから酒でも飲まない、という感じで飲みながらやっています。

藤田 ちようどオリリンピックのころじゃないですか？

一同 そーだ！その影響だ！

鳥本 青葉中央公園でスキー授業もしましたね。

渡辺 低学年は馬場公園、高学年はバスでスキー場に行くこともありました。

藤田 藤野か藻岩山

中山 手稲も行ったことあります。

鳥本 昔のスキー靴は、ヒモでしばってましたね。

藤田 みなさん、りんご山って覚えてますか？たしか十三丁目あたりが丘みたいになっていて、そこでスキーを滑った記憶があります。りんごの木があつたかどうか

渡辺 あと、皆さんの共通している思い出では、スケートリンクがあると思いますか？

渡辺 ありました、スケートリンク！

中山 ミルメイク？

渡辺 牛乳は瓶からテトラパックになったので、そのときになくなったかな？

鳥本 粉ジューズ知ってます？サッカーが入つておもしろかった。中山 私達は、きつと体に悪いものを食べてますね。



(青葉小学校所蔵)

冬に親たちが一生懸命水撒きして・・・冬はスケートが楽しかったですね。

鳥本 先日の同期会の時に担任の先生が言っていたんですが、親たちだけでなく先生達も夜中の三時四時位に水を撒いて一回家に帰って、朝また出てくるというタフなことをしていたらしいですね。

渡辺 私は「ガチャ」で滑ってました。スキー靴にスケートの刃をつけて滑るんですが、安定感がありました。竹スキーもありましたね。ミニスキーの竹版。

一同 えーっ、知らない！

渡辺 高和堂に売ってたんじゃないかなあ？

中山 私の頃はもうリンクはなかったですね。雪印まで行ってました。

マーフィー 私はやりませんでした。私の父がリンクを作っていました。

鳥本 お店もレジとかじゃなくて手渡しで、市場のようなやりとりでしたよ。

マーフィーさんは、小学校時代、これをやっていたというのはありますか？

マーフィー 習字をやっていました。小学校の角の家です。

渡辺 小野先生ですね！私も小学校三年生の時から通っていました。

鳥本 藤田さんはどんな思い出がありますか？

藤田 昼休みになったら小学校のグラウンドで全校生徒が遊んでいましたね。プールも何もなかったけれど、すごい人の数で・・・

渡辺 体育館もすごい人で、今駐車場になっているところでもゴム飛びとかして遊んでいました。どこにでも人がいて、散らばって遊んでいました。体育館にも鉄棒とかがあつたし。

あと給食。私が六年生のときに給食室ができて、今の形になりました。それまでは外部から運んで来ていました。

マーフィー 牛乳に入れる粉がありませんでしたか？

定かではないですが、皆りんご山と呼んでいました。

渡辺 丘がありましたね。私はあそこを通つてもみじ台の方まで行っていました。

マーフィー えっ、じゃあ線路はなかつたんですか？

鳥本 千歳線の線路は、僕たちが中学生くらいになってからできましたから。

渡辺 もとは今のサイクリングロードのところが線路だったんですよ？だから八丁目から向こうは山でした。



(国土地理院 50,000分1・昭和46年)

鳥本 上野幌小学校は、小高い所にあつたんですね。

渡辺 私は中学はもみじ台だったので小学校を卒業してからあまり八丁目の方は行かなくなりました。それで高校生くらいになってから青葉町九丁目というのができたというので聞いて、「すごい拓けて山

やなくなった」とびびくりしました。藤田 昔は八丁目までしかなかったんですよ。マーフィー 道もなかったんですか？

渡辺 なかったですね。ただの山だけでした。山の中を探検する感じでした。

鳥本 では次に、卒業した後にもここに住んで思うことはどんなことですか？

渡辺 私はやはり便利だなと思っています。住んでいくうちに、多くの方々が頑張って下さって新札幌ができ、地下鉄もJRも通り、空港にも近い。今はここに住んで、すごく良かったと思います。



(青葉小学校所蔵)

鳥本 子供の頃の記憶を持ちながら今も住んでいること、自分が卒業した小学校を子供達も卒業したという点についてどう思われますか？

渡辺 私はそこで、アイスクリームを買いに行ったなあ。

鳥本 他に高和堂の思い出は

鳥本 高和堂のおじさんの暗算はすごかったですね。みんな、お店ができた時から「高和堂のおじさん」と言っていました。当時青葉町にきたときは二七歳だったそうです。



一同 うわぁ・・・「おじさん」って失礼だったんだ・・・(笑)。渡辺 高和堂のおじさん、おばさん、と赤ちゃんもいましたね。一同 えーっ、知らない・・・

渡辺 おじさんの歳がわからない

藤田 青葉小学校にはやはりとても愛着がありますよね。学校ができた時からずっとですから。

渡辺 私も自分の家から見えて、子供たちが卒業してから十数年経つけれど、もう自分の庭という感じがします。

中山 私も結婚して一時は厚別中央にいたんですが、家を建てるとなった時にやはり青葉町がいいなと。ちよつと出れば買える物があるところ。ところがたかさんあるし、反対側に行けば静かで、すごく良い場所です。

マーフィー 私も一時は大塚にいてそこも良かったんですが、雪が多くて少し大変でした。あと、親のことが心配だったので戻ろうと鳥本 親のことも大きいかもしれなくてすよね。

渡辺 これから、自分達の子供が成長して遠くに行っても、また青葉町に戻ってくるんだらうかと思うことがあります。

鳥本 子供達には戻って来て住んで欲しいと思いますか？

渡辺 うーん、学校がなくなってしまうからなあ・・・

鳥本 青葉小が廃校となることに

ので「八〇過ぎて運転してる！」なんて思っていました。お若かったんですね。

鳥本 皆さん、他に「ここは思い出深い」というような場所がありますか？

中山 はるみ公園かな？

渡辺 はるみ公園に土管があつて、遊ぶのが楽しかったです。

マーフィー ラジオ体操もやりました。



(当初のはるみ公園・七丁目飛田様提供)

鳥本 ラジオ体操って、必ず行かないといけないものじゃなかったですか？

一同 行かないやいけなかった！マーフィー ラジオ体操のカードを、夏休み明け学校に提出していました。中山 必死に行っていました。

渡辺 引越して来た頃は、上野

ついで、思うことはありますか？

マーフィー なくなるのは淋しいですよ。特に卒業した方たちは皆さんそうだと思います。

中山 私もなくなるのは、ショックでした。せめて一番下の子まで卒業させたいです。

鳥本 小学校は、万が一震災が起きた時には避難場所になる場所ですよ。それが無くなる可能性があるんです。青葉中学校や上野幌小学校まで行かなければならなくなる。

渡辺 どうするんでしょう。投票なども困りますね。

鳥本 震災はまさか自分のところには来ないだろうと思っていたところがあつたと思うのです。もつと大きな震災になると確実に避難所は小学校になりますよね。そういうことに対しては、どう思いますか？

渡辺 住んでいる者としてはすごく不安ですよ。

中山 お年寄りも多いからそんなに遠くまでは避難できないです。鳥本 学校がなくなり、子供たちの声が聞こえなくなり、震災等の時の避難所がなくなる。そう考え

ると、本当にこの後ここにずっと住んでいられるのかと。

渡辺 高和堂がなくなる時に店主のおじさんが、小学校がなくなつたらもう青葉町はだめだね、と言っていました。全部が住宅地になつてしまつたら、もう青葉町ははすたれて行くのではと、懸念していました。



鳥本 子供たちにとって、高和堂の存在は大きかったですよね。

マーフィー 大きかったです。お正月でも開いていて、おもちやを買つたりして。

鳥本 遠足の時にお菓子を買いに行きましたね。

渡辺 文房具を買っておじさんと話をしたり。中山 私の頃にはもう駄菓子屋さんになつていて、飴を買いに行つたりしました。渡辺 高和堂はいつまでも青葉町にあるものだと思っていて、同窓会に行くたびに、「まだ高和堂あ

んいらつしゃってましたね。鳥本 五〇周年では、そんなにいらしてなかったような・・・閉校式を盛大にする予定なのかな？

一同 そのときは皆で集まりたいですね。

お忙しい中、みなさん、お集まりいただき、ありがとうございました。当時の子供たちならではの、お話も伺うことができました。また、みなさん含め、地域の誰もがきつとお世話になった「高和堂のおじさん」こと高橋和雄さんも高和堂もみじ台南店で、元気に奥様と営業されています。また、丁度、はるみ公園もこの九月に二回目の改修を終え、生まれ変わり、子供たちの声が響いています。代々の思い出が詰まったこの街を大事にしていきたいですね。

(編)

白樺歴史ギャラリー

(一) 空から見た白樺会の変遷
昭和四一年〜平成二〇年

昭和四一年、白い部分が造成中の青葉町です。まだ何もなく、浄水場がある程度です。真ん中やや左が中央公園です。真ん中下部には、当時の上野幌駅があり、最上部やや左に、現新札幌駅周辺の弾薬庫が見えます。また、左方向には、既に完成しているひばりヶ丘団地が並んでいます。



(国土地理院撮影・昭和41年)



(国土地理院撮影・昭和46年)



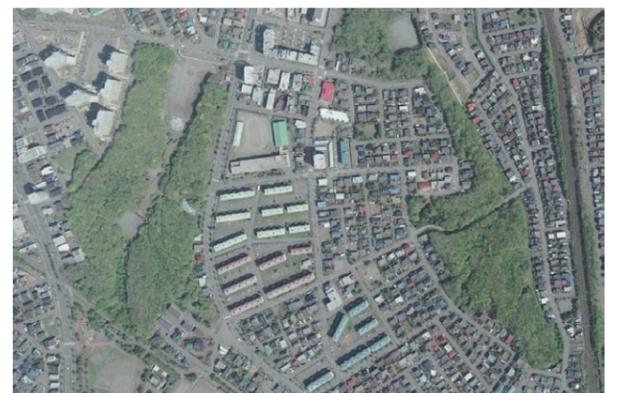
(国土地理院撮影・昭和51年)

右上の写真は昭和四六年、左上は、昭和五一年に撮影したものです。左の写真には、真ん中上部に公設市場ができているのがわかります。十三丁目には、まだ田んぼや緑地帯が多いです。

左の写真は平成五年の撮影のものです。白樺会の周囲もだいぶ変わり、十三丁目も住宅地に、八丁目から南側の部分や、九丁目も住宅地になっていきます。旧千歳線は、サイクリングロードになりました。



(国土地理院撮影・平成5年)



(国土地理院撮影・平成20年)

平成二〇年になり、現在白樺会管内にある大型マンションも立ち並び、七丁目の奥にあった浄水場も、宅地になりました。周囲の市営住宅は、これから建て替えが始まる場所です。

そして、裏表紙にある現在の姿へと移り変わっていきます。

(二) 下野幌小学校から
青葉小学校へ

昭和四三年、現青葉小学校が下野幌小学校として開校しました。体育館がまだなく、開校式は理科室で。当時通学バスもありました。



恒例の人文字。(昭和五三年)グラウンドの向かいには、病院が立ち並び、写真上部には公設市場と、にしも見えます。



校名も、下野幌小学校から青葉小学校へ



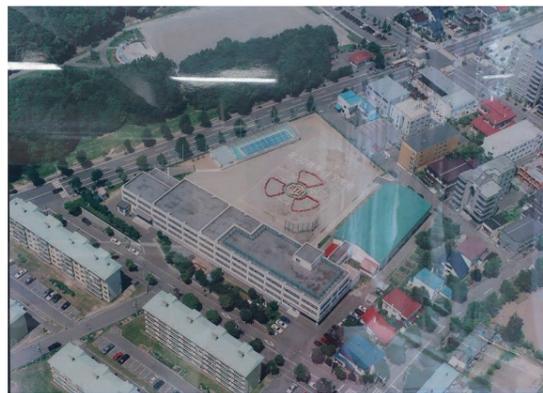
当時、冬には校庭がスケートリンク

クになりました。運動会も座る場所がないくらいの大人数でした。詳細は、卒業生座談会のページをご覧ください。



創立三〇周年の人文字です。この頃、やっと念願のプールも出来ました。工事の関係で、初夏に行われる運動会も、この年は秋に行われました。また、写真右上、現在のマンションが建っているところは、ガソリンスタンドがありました。公設市場は、アルファベーターに変わっています。

(この欄の写真は、すべて青葉小学校所蔵)



(三) 白樺会内外の様子

中央公園駐車場向かいから、六丁目方向を写したものです。中央に公園管理棟、その右に牛乳屋さん、さらにその右には小学校の校舎が見えます。



(青葉町自治連合会所蔵)

青葉地区の、当時の札幌市の開発の方針によって、白樺会管内もこのように分けられていたのです。



(札幌市公文書館所蔵)

今のパシフィックヒルズとシティハウスの場所にあった、札幌市公設市場と、コンシユマーズマーケットにしむらの写真です。

その後、いろいろ形を変え、にしむらのあとは、パシフィックヒルズになり、公設市場のあとは多少名称を変えた後、シティハ



ウスが建ちました。アルファベータ、ローンと美容院、ミニスーパーとカーブス、というように次々と店舗が変わり、



(上、右下2点青葉町自治連合会所蔵・真中下、左下2点札幌市公文書館所蔵)

現在は、「シティマーケットとらさわ」と、「きたえるーむ」に変わっています。てらさわさんは、この胆振東部地震のブラックアウトの際も、暗い中、店員の皆さんが手作業で販売を行うなど、白樺会の住民の皆さんにとって、とても心強い存在でした。

左は、一九六八年十二月二日開局の下野幌郵便局（現・札幌青葉郵便局）です。郵便ポストも、時代を感じさせます。



(札幌青葉郵便局所蔵)

七丁目十一番地に、浄水場もありました。



(札幌市公文書館所蔵)

現在もある児童会館も、平成三年十二月に開館しました。児童保育・子育てサロン・地域のサークル活動の場として、町内なくてはならない所です。



(札幌市公文書館所蔵)

現在のサイクリングロードのテニスコート付近にあった旧千歳線の上野幌駅と現在の跡地の掲示です。

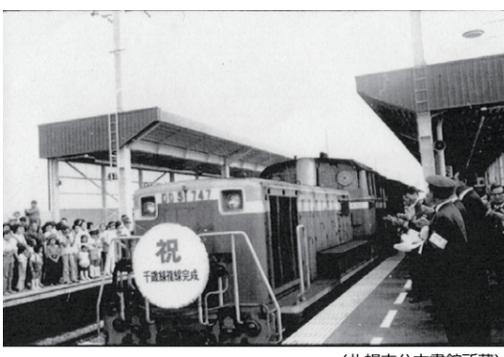


(青葉町自治連合会所蔵)



昭和四八年九月、新札幌駅開業、初列車出発式当日です。テープカットも行われ、華々しく式典が行われました。

今、現在の札幌駅は、サンピアザ・デュオ・カテプリがあり、それらの施設も年々新しい姿に生まれ変わっています。これから数年かけて、副都心開発が進み、商業施設や芸術ホールができ、大学まで誘致されるとなると、私たちが思ってもいなかった賑やかな街に、変貌していくことでしょう。



(札幌市公文書館所蔵)

昭和四六年の厚別区の地図です。新札幌の駅的位置は現在とは違います。



(和寒かたくり歯科清水様寄贈・国土地理院 50,000分1地図・昭和46年)

～年表で見る白樺会50年の歩み～

西暦・(昭和・平成)・月	白樺会会長	世の中の出来事	青葉町・白樺会内の出来事
1994 (6)	6		北海タイムス専売所跡地が賃貸アパートに
1995 (7)	1	阪神淡路大震災	
	3	地下鉄サリン事件	
1996 (8)	7	福まち推進センター開設	
			公設市場跡地に青葉公園シティハウス建設
1997 (9)	11	北海道拓殖銀行破綻	
			にしむら跡地にパシフィックヒルズ新さっぽろ建設
1998 (10)	2	長野冬季オリンピック	
2002 (14)	1		NPO 法人ホームヘルパーノア開設 サービス「花梨の森」開設
	4	11代：高橋重雄	第35回総会 市営住宅A団地建替完了
2004 (16)	4	12代：伊藤安明	第36回総会 市営住宅B団地建替完了
	7		日本ハムファイターズ 北海道移転 エクセルシオール建設
2005 (17)	10		郵政民営化法成立
2006 (18)	10		市営住宅B団地建替完了
	12		日本ハムファイターズ 44年ぶり2回目の日本一に 鮭の味通閉店
2007 (19)	4	13代：宮北正	第40回総会 第一回花梨の森音楽会開催
	6		
2008 (20)	4	14代：藤堂恭平	第41回総会 後期高齢者医療制度実施
	7		コスモ石油スタンド跡地にロジエ新札幌建設
2009 (21)	12		青葉会館改築落成記念式典 市営住宅D団地建替完了
2010 (22)	4	15代：石塚進	第43回総会
2011 (23)	3		東日本大震災・福島第一原子力発電所事故発生 市営住宅E団地建替完了
2013 (25)	4		市営住宅F団地建替完了
2014 (26)	4		ローソン跡にてらさわ青葉店開店
	8		有料老人ホーム「カベラ青葉」開設
2015 (27)	4	16代：伝法政喜	第48回総会
2016 (28)	3		北海道新幹線 青森～新函館開業
	4		熊本大地震
	10		日本ハムファイターズ 10年ぶり3回目の日本一に
2017 (29)	8		川原歯科医院閉院
	9		高和堂閉店
2018 (30)			白樺会創立50周年
	9		北海道胆振東部地震・全道ブラックアウト発生

西暦・(昭和・平成)・月	白樺会会長	世の中の出来事	青葉町・白樺会内の出来事
1968 (43)	9	初代：西田進	白樺会設立
	12		北光幼稚園開園 下野幌(現・青葉)小学校開校 下野幌(現・札幌青葉)郵便局開局
1969 (44)	2代：橋本富		第2回総会
	5		札幌市が下野幌団地地区を「青葉町」と定める
	12		青葉町自治連合会設立
1970 (45)	3代：鳥本優		第3回総会
	12		バス路線一部「青葉8丁目」まで運行 地下鉄南北線開業
1971 (46)	4代：大内清		第4回総会
1972 (47)	5代：小野良介		第5回総会
	1		青葉公設市場オープン
	6		コンシューマーズマートにしむら開店
1973 (48)	9		国鉄新札幌駅開業
1974 (49)	8		サイクリングロード開通
1975 (50)	10	6代：相原昇	第8回総会
	12		青葉町体育振興会設立
1976 (51)	7代：藤田敏夫		第9回総会
	4		青葉地区社会福祉協議会発足
1977 (52)	6		サンピアザオープン
	8		北海道銀行下野幌支店がサンピアザに移転・跡地は同行独身寮に 有珠山噴火
1978 (53)	3	8代：清水信夫	第11回総会
	4		青葉地区民生児童委員協議会発足
	11		地下鉄東西線白石～新札幌間延長工事着工
1979 (54)	12		青葉会館落成式
1981 (56)	4		下野幌小学校から青葉小学校へ改称
	10		青少年科学館オープン
1982 (57)	3		地下鉄東西線白石～新さっぽろ間開通
			青葉中学校開校
1983 (58)	4	9代：今井正雄	第16回総会
			橋本産婦人科医院跡地にレジデンス青葉建設
1985 (60)	4	10代：藤堂恭平	第18回総会
			7丁目の下野幌浄水場廃止
1987 (62)	1		第2白石区民センター(現厚別区民センター)オープン
	4		国鉄分割民営化
1988 (63)	5		青葉産婦人科クリニック開院
1989 (元)			青葉町調剤薬局開業
	11		白石区から厚別区が分区
1990 (2)			のうなか皮膚科医院跡地にヴィラ青葉が建設
1991 (3)	12		青葉児童会館オープン
1993 (5)	7		北海道西南沖地震

－編集後記 (ひとことメッセージ)－

8月下旬より発足した白樺会50周年記念誌編集委員会ですが、「さあ、これから」という9月に北海道胆振東部地震と全道ブラックアウトが起きました。そんな中、白樺会の皆さんにインタビューや座談会、写真のご提供などご協力いただき、発行の日を迎えることができました。編集委員会一同、厚く御礼申し上げます。

＜編集委員会のメンバー＞



青葉町住人となりまだ4年ですが、記念誌編集のお手伝いを通して、次第にこの町に愛着を持つようになりました。地域の歴史や人々の営みを知るとはこういうことかと、実感しています。ご協力頂いた皆様、有難うございました。 石澤三樹子

埼玉出身の私と、鹿児島出身の妻とこの青葉町に来て21年、「肌で感じていない歴史を知りたい」と、常々思っていたことがこういう記念誌を作りたいと思った原点です。今後も白樺会が先進的な単町として更なる発展を遂げることを、切に願います。 小林澄夫

札幌に転勤が決まり、家族でこの青葉町に初めて来たのは9月の肌寒い日でした。早いもので、あれから21年。ここは、第二の故郷になりました。今回、記念誌作りを通して、この地で暮らせた幸せな日々を思い起こし、素敵な思い出にすることができました。 小林玲子

50周年記念誌が出来上がりました。インタビューや座談会のテープ起こしを担当してくれた松谷さん、石澤さん、小林玲子さん、ありがとうございました。地域の歴史を振り返る素晴らしい記念誌になったと思います。 伝法政喜

人生100年時代(100年ライフ)の到来。この街で暮らして50年を迎えます。記念誌作成に関わらせていただき、先人達が築いたこの街に「自分は何ができるのか」この問いに改めて考える時を与えてくれた皆様に感謝いたします。 鳥本優至

青葉町の発展と変化の様子は、驚きの連続でした。今回の企画に関わらせていただき、「人と人の繋がり」こそが不変のものであることを実感しました。貴重な経験に感謝しています。ありがとうございました。 中島すが子

この地域に住んで46年程経ち、今回このような記念誌作りに係われたことを嬉しく思います。春には桜、秋には紅葉と本当に自然を感じ元気をもらえる地域です。今後も老若男女、力を合わせてつながりのある町内会になって欲しいと思います。 仲平美代子

青葉町は、森を切り開きつくった住宅街だと思っていました。青葉中央公園や運動公園周辺の木々は、そのなごり、部分的に森を残したんだと信じていました。編集委員となって、真実を知りました。 松谷知子

住宅地として誕生した、第一世代の高齢化が、そのまま地区の高齢化につながっている青葉町。でも、取材の中で、第二世代とも云える方々が、この地に強い愛着を抱いていることにひと安心。と同時に、気軽に助け合える新たなコミュニティづくりに期待!! 山本正幸

写真でみる今日の白樺会

まずは4月の総会から



役員人事や、予算、諸計画について検討、討議します。ここから1年のスタートです。

恒例5月のます花壇植栽



花植えしながらのおしゃべり、毎年恒例です。

日帰りバス旅行



今年は、由仁ガーデンへ。昨年は、余市へ果物狩りでした。

青葉夏祭りでお祭り



今年も大勢の皆さんにご参加いただき、楽しく夏まつりを盛り上げました。

ふれあいいきいきサロン



寄せ植え、ゆる体操、フラダンス体験、講座など毎月、趣向を凝らした活動をしています。

ホームページも



ホームページも開設 QRコードからどうぞ ※QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。

健康マージャンクラブ



初心者歓迎、飲まない、賭けない健康麻雀クラブ。老若男女集います。

パークゴルフクラブ



こちらも、初心者歓迎、パークゴルフクラブです。

白樺会では、年間を通じて、様々な取り組み、行事を、会員の皆さんと楽しく行なっています。役員、班長さんだけでなく、是非みなさん、ご参加ください。



表紙の航空写真のほぼ現在の状況

（できるだけ同じ構図にしてみました。青葉中央公園の木々も大きく成長、住宅街や、マンション群など、白樺会の状況もこの50年間で大きく変化したことが見て取れます。）

発 行：2018年11月
発 行 者：白樺会 会長 伝法政喜
編 集 者：白樺会50周年記念誌編集委員会